



四街道市東作遺跡(第8次)



図1 五輪塔の部位名称

写真2 出土した五輪塔の火輪

写真1 障子堀と地下式坑

東作遺跡は、鹿島川左岸の標高28mの台地上、四街道市中台字東作139-1他に所在する中世城郭です。道路の建設に伴い、令和3年10月末から12月初めまで、482.63㎡を対象に発掘を行いました。

本遺跡には土塁(外敵から守るため土を盛った壁)が築かれており、今回の調査の成果としては、土塁の外側で幅3m前後、深さ1.5m前後の障子堀が検出されたことが挙げられます。堀の内部は、外から侵入した敵に逃げ回られないように、四角く仕切られている様子がみとれます(写真1)。また、この堀は土塁に沿った直線ではなく、クランク状に曲げて築かれています。障子堀は市内では、物井地区にある古屋城跡でも検出されており、城の防御方法を考える上で重要な手がかりになります。

遺物は、堀の中から、五輪塔という供養塔の一部が出土しました(写真2)。五輪塔は上から団形の空輪、半月の風輪、三角の火輪、円形の水輪、方形の地輪からなり、仏教でいう五大(万物を創り出す元素)を表すものとされていますが、今回出土した遺物はこのうち火輪の部分(図1)です。なお、平成22年に南側隣接地で行われた第1次調査においても五輪塔の一部が出土しています。

今回の調査からは、本城跡には複雑な防御施設が伴うことが判明しました。市内には他にも中世の城館跡が点在することから、今後の調査によって中世の時代背景が復元されていく事が期待されます。

BOOK
FIELD



成田市水神作遺跡 (第5次)

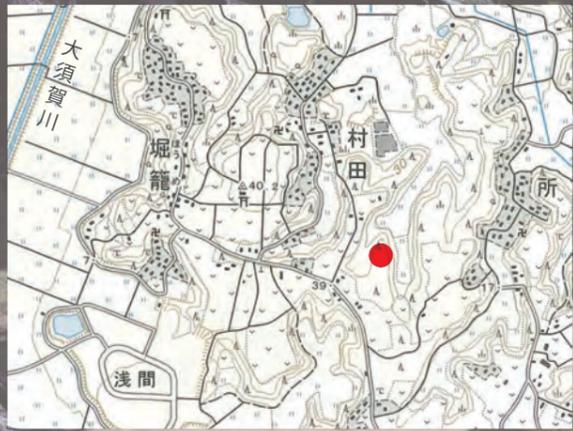


図1 水神作遺跡の位置(S=1/25,000)



写真1 大型竪穴住居跡 (南から) ※人が立っている所が柱穴



写真3 炉の断面(上)と炉体土器(下)

水神作遺跡は、利根川に注ぐ大須賀川の東岸、標高約40mの台地上に立地しており、成田市所字鼠台822番3他に所在します(図1)。第5次調査は、土砂採取に伴い平成31年4月から令和元年8月にかけて3,000㎡を対象に行われ、前年度に調査された北側隣接地(第4次調査区)から縄文・古墳・奈良・平安時代の集落と中世の曲輪が続いていることがわかりました。なかでも、縄文時代中期(約5千年前)の竪穴住居跡や貯蔵穴が多数分布しています。



写真2 炭化材検出状況 (南から)



写真4 大石出土状況



写真5 石器

注目される遺構は、縄文時代中期の最大長12.16m、最大幅8.4mの大型竪穴住居跡です(写真1)。形状は南北に主軸をもつ長楕円形で、両端に性格不明の浅い掘り込みを伴う張り出しがあります。柱穴は、壁に沿って巡る7本の主柱穴と出入口にかかわるとみられる2本の柱穴が規則的に並んでいます。また、床面には焼土とともに炭化材が多数残されていたことから、廃絶後に焼かれたとみられます(写真2)。炉は主軸線上の中央に位置し、一辺が約1mの方形に石を組んだ内側に、胴下半を欠いた深鉢を南(出入口)側に向けて斜めに埋め込むという手の込んだものです(写真3)。炉の囲いには、弱固結岩を板状に割ったものを中心に石皿の破片も使われています。遺物は多くありませんが、土器のほかに重さが30kgを超える弱固結岩の大石(写真4)や石棒状の礫(写真5-①)、磨製石斧(同②・③)、漁網錘とみられる有孔軽石製品(同④~⑥)といった珍しいものが目立ちます。

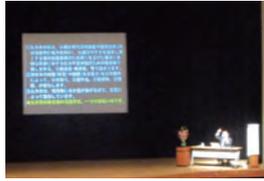
このように、単に規模が大きいだけでなく特殊な炉や遺物があることから、ムラ長のような特別な人物の住まいであるとともに、さまざまな儀式や共同作業などが行われた集会所のような性格をあわせもっていたと考えられます。



《NEWS》

■公益財団法人印旛都市文化財センター 第19回遺跡発表会を開催しました

令和4年1月15日(土)に、第19回遺跡発表会を佐倉市民音楽ホールにおいて開催しました。東京都立大学の山田昌久教授、東京大学総合研究博物館の海部陽介教授をお招きし、山田教授からは「縄文時代丸木舟の舟形と素材木・加工法について」、海部教授からは「黒潮を越えた丸木舟～3万年前の航海徹底再現プロジェクトからの報告～」という題目で講演を行っていただきました。来場者数は68人で、多くの方々にご来場いただき丸木舟などについて関心を深めてもらいました。



今回の発表会が大変ご好評であったことを受けて、令和4年度もこのような行事を開催する予定です。

《お知らせ》

■令和3年度最新出土考古資料展開催中

当センター考古資料展示室にて、令和4年6月24日(金)まで最新出土考古資料展を開催しています。今回は印西市東海道遺跡(旧石器時代)、成田市水神作遺跡(縄文時代)、印西市株木第2号墳(古墳時代)、佐倉市向山谷津遺跡(第3次)(奈良・平安時代)から出土した資料を展示しています。

*考古資料展示室開室
日時 平日9時～17時
(入室は16時30分まで)
(休室日：土・日・祝祭日・年末年始)



※新型コロナウイルス感染症対策のため、現在展示室の見学につきましては電話による事前予約制とさせていただきます。

《令和3年度 調査を終了した遺跡》

- 《成田市》十余三稲荷峰西遺跡 (第2地点)
(旧石器・縄文時代)
- 《佐倉市》佐倉城跡 (歴博第13次) (近世・近代)
六崎貴舟台遺跡 (第21次) (縄文・古墳時代)
- 《印西市》結縁寺山王台遺跡 (中世)
- 《四街道市》和良比長作No.2遺跡 (第3次) (縄文時代)
東作遺跡 (第8次) (中世)
平台遺跡 (第2・3次) (縄文・奈良・平安時代)

- 《八街市》御成街道遺跡 (近世)
- 《山武市》大椎木遺跡 (旧石器・古墳・奈良・平安時代)
- 《柏市》花戸原遺跡 (第19・20・21・23次) (旧石器・縄文・古墳・奈良・平安時代、中世・近世)

《令和3年度 整理作業を終了した遺跡》

- 《成田市》十余三稲荷峰西遺跡 (第2地点)
(旧石器・縄文時代)
- 《佐倉市》間野台・古屋敷遺跡C地区 (第10次)
(古墳時代、中世) 他
佐倉城跡 (歴博第13次) (近世・近代)
- 《四街道市》鹿渡遺跡 (第4次) (旧石器・縄文時代) 他
和良比長作No.2遺跡 (第3次) (縄文時代)
- 《印西市》三度山遺跡 (第3地点) (縄文時代) 他

《令和3年度 調査を行っている遺跡》 (3月現在)

- 《四街道市》郷野遺跡 (第2次)
(縄文・古墳・奈良・平安時代)
- 《柏市》花戸原遺跡 (第22次)
(古墳・奈良・平安時代、中世・近世)

《令和3年度 整理作業を行っている遺跡》

- 《成田市》小菅大山遺跡群1 (第1地点・第2地点・第3地点)
(古墳・奈良・平安時代、中世・近世)
- 《印西市》東海道遺跡 (第2地点2次)・前戸遺跡 (第6地点)
(旧石器・縄文・古墳・奈良・平安時代)
- 《柏市》花戸原遺跡 (第10・11・12・13次)
中馬場遺跡 (第9・10次) (奈良・平安時代)

※発掘現場、室内作業は見学できます。ご期待に添えない場合もありますので、かならず事前にご連絡ください。

《ご案内》

ホームページとスマートフォン版サイトをご利用ください。当センターの最新情報をお伝えしています。下記URLもしくはQRコードより閲覧してください。

PCサイト <http://www.inba.or.jp>

スマホサイト <http://www.inba.or.jp/sp>

